

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

宗谷北部圏域は稚内市と豊富町の1市1町で構成され、漁業協同組合は沿海地区漁協が2漁協（宗谷漁業協同組合、稚内漁業協同組合）と業種別漁協が1漁協（稚内機船漁業協同組合）ある。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

当圏域の主要漁業はほたて桁びき網漁業、沖合底びき網漁業、さけ定置網漁業、たこ漁業等である。令和元年における漁獲量はホタテガイが47,149トン、サケ・マス類が845トン、タコが842トン、ナマコが218トンとなっている。

主要魚種であるホタテガイは稚貝の育成・放流を行うことにより、つくり育てる漁業を実施している。また、サケ・マスは北海道と民間団体との協力体制のもとで人工ふ化放流が行われている。その他にも、なまこやうにの種苗の育成・放流を行っているほか、ニシンやヒラメについては、北海道栽培漁業振興公社羽幌センターで生産された種苗の放流が行われている。

③ 水産物の流通・加工の状況

当圏域内で水揚げされたホタテガイは、圏域内の加工場で干し貝柱や玉冷に加工され、道内はもとより中国・アメリカ方面へ流通している。また、当圏域内の一部海域では対EU輸出生産海域の指定を受けており、EU方面への輸出にも取り組んでいる。

その他の漁種については各港で水揚げされた後、主に稚内港や流通拠点漁港である東浦漁港に集約され、圏域内外に出荷される。

④ 養殖業の状況

当圏域のホタテガイ養殖業は、地撒き漁場を4区画造成し漁場ごとに4年に1度小型底びき網漁業を行う4輪採制と呼ばれる特徴ある操業形態を採用している。種苗については、圏域内で生産されたもののほか、圏域外から購入した稚貝を使用している。

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

稚内漁業協同組合の組合員数は 183 人、宗谷漁業協同組合の組合員数は 318 人、稚内機船漁業協同組合の組合員数は 21 人である。

当圏域の組合員数は減少傾向ではあるが、後継者育成に力をいれており今後とも新規着業者の参入が見込まれる。

⑥ 水産業の発展のための取組

EU 等へのホタテガイの輸出を促進するため、水揚げや搬送等の際に「北海道対 EU 輸出ホタテガイ管理要領（宗谷南部海域）」等を遵守した体制となるよう、民間加工場を交えた研修会を開催し、安全衛生管理の検証・強化を行っている。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

ホタテガイやサケ・マス類の水揚げにおける衛生管理向上や、船の大型化に対応するための岸壁の整備を求められている。

航路や泊地が埋塞し出入港の際の安全性が低下していることから、漂砂対策が求められている。

漁港施設の老朽化が進行しており、機能保全計画に基づいた補修が必要である。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

当圏域内の各漁港において現在のところ、統合や廃止、再編等の予定はない。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	流通拠点型	設定理由；第 4 種東浦漁港に産地市場を有し、消費地や加工場等へ出荷している。
② 圏域範囲	稚内市 豊富町	設定理由；稚内市及び豊富町の水産物を集約しているため
③ 流通拠点漁港	第 4 種東浦漁港	設定理由；産地市場を有し、圏域の水産物が集約されている。 衛生管理のための屋根付き岸壁等が整備されており、高度衛生管理（L2 以上）が実施されている。 避難港として位置づけられており、災害時の対策を踏まえた整備を

		行っている。
④ 生産拠点漁港	第4種抜海漁港	設定理由；さけ定置漁業を主体としており、沿岸漁業の基地港及び避難港として圏域内で中核的役割を果たしている。
	第1種宗谷漁港 (宗谷・清浜・珊内)	設定理由；たこ漁業を主体としており、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。
	第1種声問漁港	設定理由；採藻漁業を主体としており、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。
	第1種西稚内漁港	設定理由；さけ定置漁業を主体としており、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。
	第1種稚咲内漁港	設定理由；さけ定置漁業を主体としており、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。
	第2種富磯漁港	設定理由；ホタテガイの種苗生産を主体としており、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。
	第2種恵山泊漁港	設定理由；刺網漁業を主体としており、沿岸漁業の基地港として中核的役割を果たしている。
⑤ 流通・輸出拠点漁港	第4種東浦漁港	設定理由；流通拠点漁港であり、ホタテガイの生産量が多く、輸出を行っている。

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	53,742
圏域の総漁港数	8
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	2

圏域の登録漁船隻数(隻)	792
圏域内での輸出取扱量(トン)	12,636

⑥ 養殖生産拠点地域について

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	宗谷北部
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	ホタテガイ

当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量（収穫量）（トン）	47,149
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額（百万円）	9,593

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

（1）産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

輸出促進への対応のため、流通拠点漁港で屋根付き岸壁の整備等による水産物の衛生管理、鮮度保持を図る。

また、総合的な衛生管理体制を確立させるため、関係者の衛生管理意識の向上や施設の効果的運用を図るためソフト施策を講じて行く。

② 養殖生産拠点の形成

当圏域内の各漁港において、現在養殖生産拠点の形成に係る整備予定はないが今後の状況による。

（2）海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

当圏域内の各漁港において、現在環境変化に対応した漁場生産力の強化に係る整備予定はないが今後の状況による。

② 災害リスクへの対応力強化

老朽化が進み、更新需要が増大する漁港施設及び漁業集落排水施設について、持続可能なインフラ管理の推進のため、予防保全型の老朽化対策を行う。

漁港事業継続計画の作成を予定しており、被災後の地域水産業の早期再開を推進する。

（3）「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

当圏域内の各漁港において、現在「海業」による漁村の活性化に係る整備予定はないが今後の状況による。

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

当圏域内の各漁港において、現在女性など多様な担い手の活躍に係る整備予定はないが今後の状況による。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
東浦漁港	流通機能強化 輸出促進	直轄特定	東浦漁港	4	○

② 養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名

② 災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
東浦	防災	直轄特定	東浦	4	○
東浦	予防保全	直轄特定	東浦	4	○
抜海	予防保全	直轄特定	抜海	4	
宗谷	予防保全	機能保全事業	宗谷	1	
宗谷	予防保全	機能保全事業	声問	1	
宗谷	予防保全	機能保全事業	恵山泊	2	
宗谷	予防保全	機能保全事業	西稚内	1	
宗谷	予防保全	機能保全事業	稚咲内	1	

・老朽化が進んだ漁港施設について、機能保全計画に基づいた補修工事を行うことで、漁業活動の安全性を確保する。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

4. 環境への配慮事項

工事の実施に当たっては、環境に悪影響を与えないよう施工時期等に配慮する。

5. 水産物流通圏域図

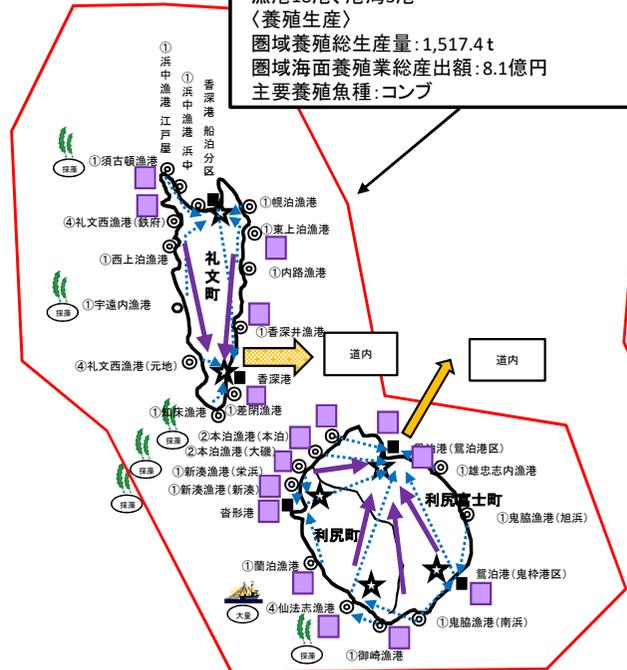
別紙のとおり

北海道 宗谷総合振興局水産物流通圏域図

利尻・礼文圏域

流通拠点(外海離島型)

圏域総陸揚量:16,570.5 t
 圏域総陸揚金額:55億円
 漁港18港、港湾3港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:1,517.4 t
 圏域海面養殖業総産出額:8.1億円
 主要養殖魚種:コンブ



宗谷北部圏域

流通拠点(一般型)

流通拠点:東浦漁港(第4種)
 圏域総陸揚量:53,742.8 t
 圏域総陸揚金額:151億円
 漁港8港、港湾2港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:47,149.5 t
 圏域海面養殖業総産出額:95億円
 主要養殖魚種:ホタテガイ

猿払圏域

流通拠点(一般型)

流通拠点:浜鬼志別漁港(第2種)、知来別漁港(第2種)
 圏域総陸揚量:49,827.9 t
 圏域総陸揚金額:82億円
 漁港3港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:48,370.8 t
 圏域海面養殖業総産出額:70億円
 主要養殖魚種:ホタテガイ

頓別圏域

流通拠点(一般型)

流通拠点:頓別漁港
 圏域総陸揚量:13,643.1 t
 圏域総陸揚金額:31億円
 漁港2港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:12,547.6 t
 圏域海面養殖業総産出額:19億円
 主要養殖魚種:ホタテガイ

枝幸圏域

流通拠点(一般型)

流通拠点:オホーツク枝幸漁港(第2種)、オホーツク枝幸北漁港
 圏域総陸揚量:53,340.2 t
 圏域総陸揚金額:110億円
 漁港2港、港湾1港
 <養殖生産>
 圏域養殖総生産量:37,708.0 t
 圏域海面養殖業総産出額:67億円
 主要養殖魚種:ホタテガイ

● : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)

◎ : 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)

○ : 一般漁港

■ : 港湾 (漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)

☆ : 産地市場

漁業: 主な魚種

(主な漁業種が、(大船) (巻き網・底引き網等、) (小舟) (イサナ) (イサナ) (イサナ) の場合は示す)

← : 水産物集約 (漁船陸揚げ)

← : 水産物集約 (陸送)

◻ ← : 加工場・消費地への出荷 (主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等をしてできる限り示す。)

← : 養殖に係る水産物の流れ

◻ : 養殖漁場

50t 未満	→
50~100 t	→
100~500 t	→
500~1000 t	→
1000~5000 t	→
5000t 以上	→

